

12/12
福井

採決めぐり 反対の声

傍聴席が一時騒然、緊迫

県会が17日に可決した高浜原発3、4号機の再稼働決議をめぐる議論のやり取りを見届けようと、本会議場の傍聴席には市民ら43人が詰め掛けた。容認派の提案理由説明や採決の場面では、反対派が「県民の声をちゃんと聞け」などと声を上げ、一時騒然となった。再稼働を求める決議案を提

案した自民党県政会を代表し、笹岡一彦議員がその理由を説明すると、反対派の市民の一部が立ち上がってプラカードを掲げ「住民理解は得られていない」などと大声を出した。仲倉典克議長が壇上から注意し、そばにいた議会事務局職員が静粛にするよう求めたが、賛成討論のたび同じ

ことが何度も繰り返された。採決の場面でも、議会事務局職員の制止を振り切って「こんなの茶番だ」と叫んだため、議場の議員から「退席しろ」などと声が上がリ緊迫した。

閉会后、サヨナラ原発福井ネットワークの若泉政人さん(48)「越前市」は「再稼働あ



高浜原発3、4号機の再稼働を求める決議に抗議する傍聴者。17日、県会議事堂(木村時典撮影)

りぎの議事進行」と厳しく指摘。「国に責任を預けず、県は責任を果たすべき」と訴えた。再稼働差し止めを命じた福井地裁の仮処分決定をめぐる異議審の決定が出されていない中、吉森義幸さん(67)「福井市」は「なぜ急ぐのか、分からない」と憤っていた。

(大谷貴洋、堀英彦)